

愛媛大学教職大学院

令和2年度の実績と今後の展望

愛媛大学大学院教育学研究科
教育実践高度化専攻（教職大学院）
リーダーシップ開発コース
教授 露口健司
tsuyuguchi.kenji.mg@ehime-u.ac.jp

説明内容

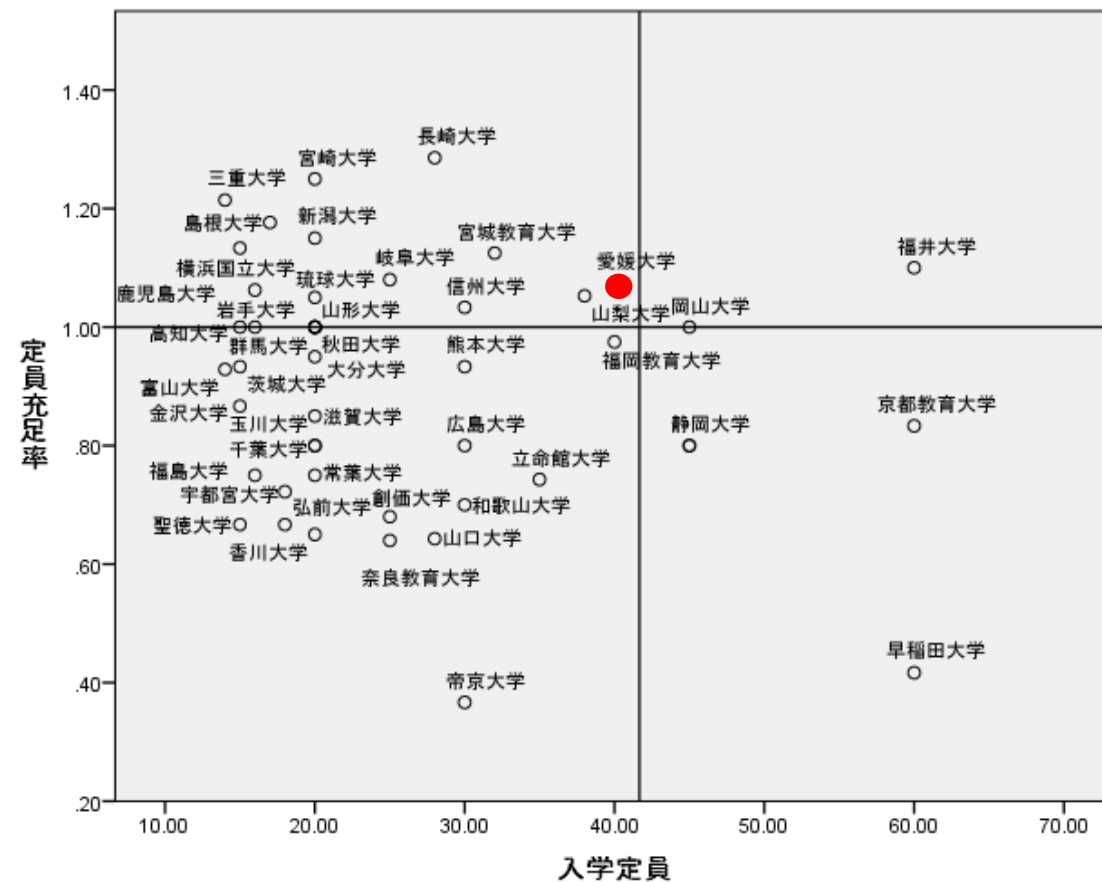
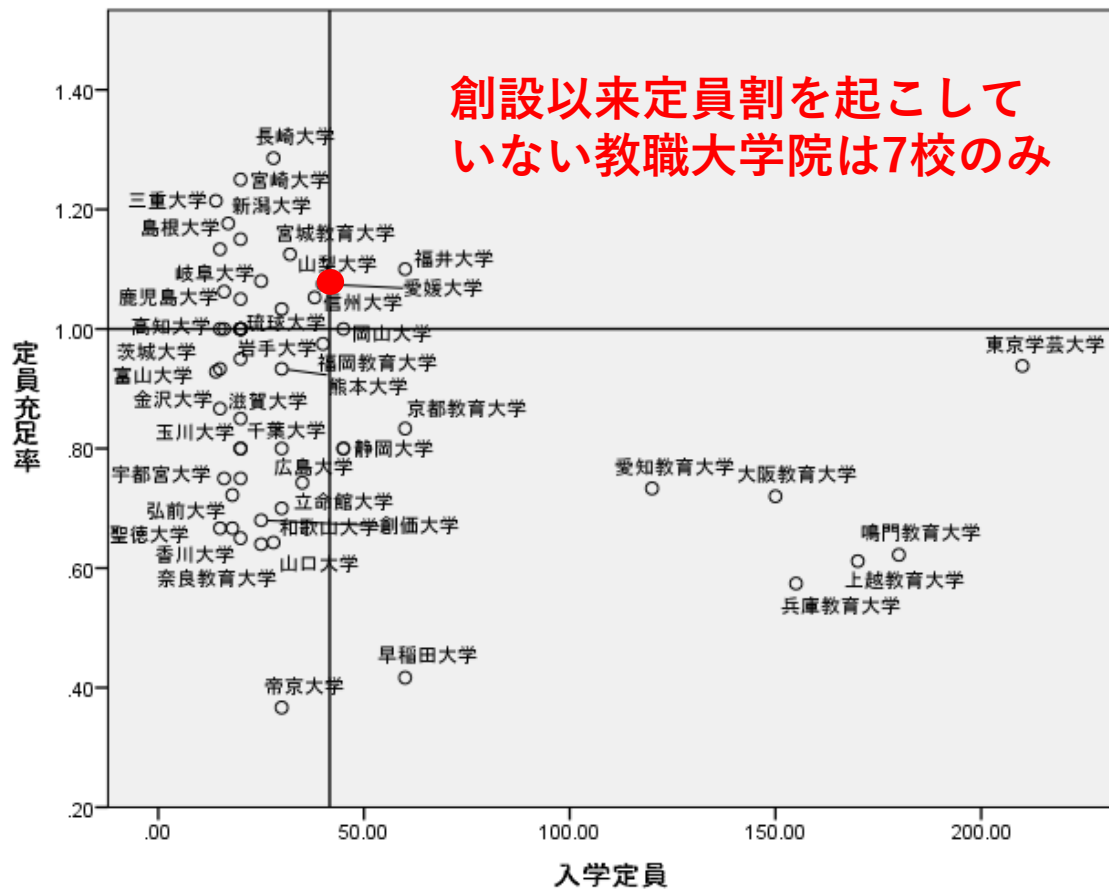
1. 教職大学院の拡充改組
2. GIGAスクール対応
3. エクステンション活動
4. 地域連携事業
5. 研究・社会貢献
6. 2021年度 新規活動案

教職大学院の拡充改組（令和2年度より実施）

- 教職大学院定員 15名 ⇒ 40名
- コース編成 2コース ⇒ 4コース
(現行 + 教科領域コース + 特別支援教育コース)
- ICT教育高度化プログラムの開設
- 現職教員1年修了プログラムの導入
(令和4年度入試より、現職教員2年修了も選択可能とするように募集要項を改訂予定)

愛媛大学教職大学院のポジション

国立総合大学では全国第4位の規模



愛媛大学教職大学院コース設定

愛媛大学 教職大学院

リーダーシップ開発コース（5名）

- **現職教員**（学校管理職候補者）を対象
- 教員個々の指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献でき、また、教員相互をはじめとして、学校と保護者・地域との間に連携協力関係の基盤となる信頼を構築するリーダーシップを発揮できる学校管理職を養成する。愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成

愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成

教育実践開発コース（10名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる学級経営・生徒指導・ICT教育についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

校内研究を推進するリーダー候補の育成

教科領域コース（15名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象。
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる教科指導についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

教科指導・研究を推進するリーダー候補の育成

特別支援教育コース（10名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象。
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる特別支援教育についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

特別支援教育・研究を推進するリーダー候補の育成

愛媛県教育委員会が教員育成指標において求める実践の指導力・組織力・信頼構築力・人間力の基盤を形成する。

DP1：知識・理解

学校改善・授業改善等に関して高度な専門的知識を習得している。

DP2：技能

学校改善・授業改善等にかかわる高い技能を身につけている。

DP3：思考・判断・表現

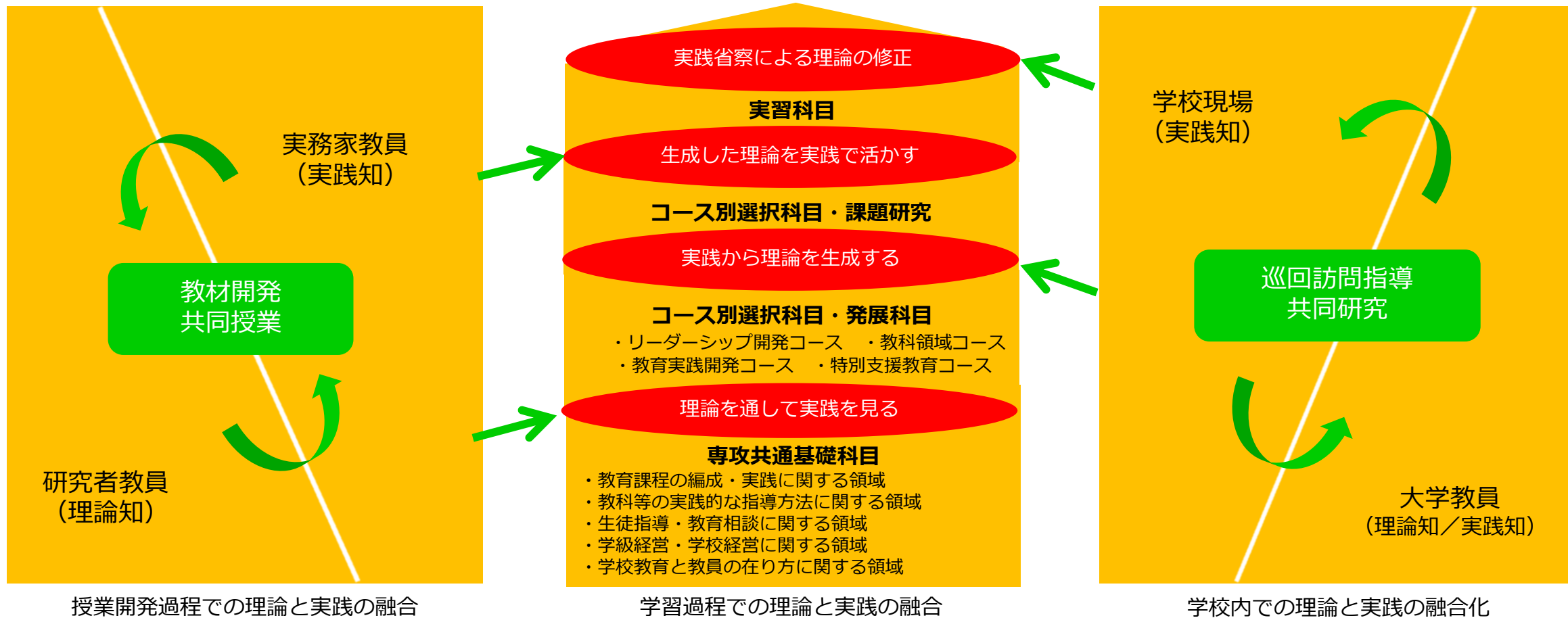
学校教育にかかわる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方を適切に考え、高度な実践力をもって学校改善・授業改善等に取り組むことができる。

DP4：関心・意欲・態度

学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

2年次

1年次



大学・教育委員会・連携協力校の連携協力体制

AP1：知識・理解

教職大学院での履修に必要な基本的専門知識を習得している。

AP2：技能

教職大学院での履修に必要な基本的技能を習得している。

AP3：思考・判断・表現

教育をめぐる現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方を総合的に考え、その課程や結果を適切に表現することができる。

AP4：関心・意欲・態度

自己の学習課題・成長課題を明確に意識し、教師として自主的にそれらに取り組もうとする意欲を有し、自発的に社会に貢献しようとしている。

実務家教員（敬称略）

- 城戸茂、兵藤清一、山内孔、池田哲也、藤原一弘
- 高橋葉子、遠藤敏朗、掛水高志、藤堂浩伸
- 榎木暢子、加藤哲則
- 秋山敏行、井上昌善、井上洋一、楠俊明、立松大祐、玉井輝之

※おおむね20年以上の教職経験等が必要。

※教職大学院専任教員の4割以上は実務家教員でなければならない。

※下線は、愛媛県教員経験者

専攻共通基礎科目（20単位）

区分	領域	授業科目	リーダーシップ開発	教育実践開発	教科領域	特別支援教育
			20単位	20単位	20単位	20単位
専攻共通基礎科目	教育課程の編成及び実施に関する領域	授業研究の開発実践	○	○		
		授業開発の理論と実際			○	○
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	心の教育の理論と実践		○	○	
		授業における学習支援と指導法の事例分析	○			
		ICT教育の実践研究	○	○		○
	生徒指導及び教育相談に関する領域	小学校英語教育の実践研究		○		
		子どもの発達と感情		○	○	○
		生徒指導・進路指導の実践研究	○			
		子ども理解の心理アプローチ（調査法）		○	○	○
	学級経営及び学校経営に関する領域	特別支援教育の理論と実践		○	○	○
		学級経営の理論と実践		○	○	○
		学校組織のリーダーシップ	○		○	○
		データを活用した学校経営（調査法）	○			
	学校教育と教員の在り方に関する領域	子どもの資質・能力を高める学校経営論	○			
		教員の成長と職業倫理	○			
		教師のライフヒストリー省察と資質能力開発		○	○	○
学校・家庭・地域の連携論		○		○	○	
愛媛の教育改革		○	○	○	○	

※赤字は松山市教育研修センターでの公開授業

リーダーシップ開発コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

エビデンスに基づく教育政策・事業分析	2
人材育成演習	2
教員研修プログラム開発演習	2
カリキュラムマネジメントと校内研修	2
信頼を構築する学校危機管理	2
地域とともにある学校の経営	2
学校改善の実践的研究	2

課題研究

学校改善課題研究1	◎	2
学校改善課題研究2	◎	2

注1) 数値は単位数

注2) ◎は必修科目、○は推奨科目

教育実践開発コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

		学級経営高度化 プログラム	生徒指導高度化 プログラム	ICT教育高度化 プログラム
教材開発高度化演習	2	○	○	○
特別な教育ニーズへの対応	2	○	○	○
学級経営の事例研究	2	○		
教育課題解決のための教育プログラム開発演習	2	○		
児童生徒・保護者の教育相談実践	2	○		
集団づくりの道徳論的アプローチ	2	○		
生徒指導機能を生かした学習指導	2		○	
子どもの問題行動の事例研究	2		○	
生徒指導と特別活動の実践研究	2		○	
進路指導の実践研究	2		○	
デジタル教材開発とその利用方法	2			○
ソフトウェアを活用した校務支援	2			○
プログラミングを活用した授業実践	2			○
ICTを活用した授業実践開発	2			○

課題研究

授業改善課題研究1	2	◎	◎	◎
授業改善課題研究2	2	◎	◎	◎
授業改善課題研究3	4	○	○	○

教科領域コース／コース別選択科目（16単位）

発展科目

		言語社会教育系プログラム	自然科学系プログラム	芸術生活健康系プログラム			
教科指導力高度化演習基礎	2	○	○	○			
教科指導力高度化演習発展	2	○	○	○			
		教材研究の基礎理論（現代の国語）	2	教材研究の基礎理論（代数）	2	教材研究の基礎理論（スポーツ）	2
		教材の開発と実践（現代の国語）	2	教材の開発と実践（代数）	2	教材の開発と実践（スポーツ）	2
		教材研究の基礎理論（言語文化）	2	教材研究の基礎理論（幾何）	2	教材研究の基礎理論（健康）	2
		教材の開発と実践（言語文化）	2	教材の開発と実践（幾何）	2	教材の開発と実践（健康）	2
		教材研究の基礎理論（書写書道）	2	教材研究の基礎理論（解析）	2	教材研究の基礎理論（食物）	2
		教材の開発と実践（書写書道）	2	教材の開発と実践（解析）	2	教材の開発と実践（被服）	2
		教材研究の基礎理論（歴史）	2	教材研究の基礎理論（応用数学）	2	教材の開発と実践（食物・被服）	2
		教材の開発と実践（歴史）	2	教材の開発と実践（応用数学）	2	教材研究の基礎理論（保育・家庭生活）	2
		教材研究の基礎理論（地理）	2	教材研究の基礎理論（物理）	2	教材の開発と実践（保育・家庭生活）	2
		教材の開発と実践（地理）	2	教材の開発と実践（物理）	2	教材研究の基礎理論（器楽）	2
		教材研究の基礎理論（公民）	2	教材研究の基礎理論（化学）	2	教材の開発と実践（器楽）	2
		教材の開発と実践（公民）	2	教材の開発と実践（化学）	2	教材研究の基礎理論（鑑賞・創作）	2
		教材研究の基礎理論（英語学・言語科学）	2	教材研究の基礎理論（生物）	2	教材の開発と実践（鑑賞・創作）	2
		教材の開発と実践（英語学・言語科学）	2	教材の開発と実践（生物）	2	教材研究の基礎理論（歌唱）	2
		教材研究の基礎理論（第二言語習得）	2	教材研究の基礎理論（地学）	2	教材の開発と実践（歌唱）	2
		教材の開発と実践（第二言語習得）	2	教材の開発と実践（地学）	2	教材研究の基礎理論（絵画・彫刻）	2
				教材研究の基礎理論（電気）	2	教材の開発と実践（絵画・彫刻）	2
				教材の開発と実践（電気）	2	教材研究の基礎理論（デザイン・工芸）	2
				教材研究の基礎理論（機械）	2	教材の開発と実践（デザイン・工芸）	2
				教材の開発と実践（機械）	2	教材研究の基礎理論（美術理論・美術史）	2
				教材研究の基礎理論（材料加工）	2	教材の開発と実践（美術理論・美術史）	2
				教材の開発と実践（材料加工）	2		

課題研究

教材開発課題研究1	2	◎	◎	◎
教材開発課題研究2	2	◎	◎	◎
教材開発課題研究3	4	○	○	○

特別支援教育コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

特別支援教育総論	2
障害児の聴能の理論と実際	2
聴覚言語障害への心理学的対応	2
聴覚障害教育の理論と実践	2
聞こえの困難への教育的対応	2
認知機能の困難への心理的対応	2
運動機能の困難への心理的対応	2
保健医療福祉との連携と医療的対応	2
学校における支援体制	2
個別の指導計画の作成と実施	2
社会的自立・就労の指導	2
重複障害児の教育実践	2
読み書き困難への対応	2
計算・推論困難への対応	2
行動上の問題への対応	2
アセスメントの方法と総合的解釈	2

課題研究

特別支援教育課題研究1	◎	2
特別支援教育課題研究2	◎	2
特別支援教育課題研究3	○	4

ネットワークを活用した実習科目

実習科目（10単位）

- 異校種実習（1年次2週間＝2単位）
受験・配属予定とは別の校種で学びます。
- 小規模校実習（1年次2週間＝2単位）
複式授業等について学びます。
- 研究指定校実習（1年次3日間＝2単位）
全国から研究先進校を選び、訪問・観察します。
- 連携校実習（**1年次＝4単位**、2年次＝4単位＋2単位）
1年次は、週1.5日程度、学校で学びます。

教職大学院 令和2年度 時間割案（リーダーシップ・教育実践開発）

【前期】

	月	火	水	木	金
第1時限	(愛媛の教育改革準備)	教科指導力高度化演習 基礎 (教科領域コース)	巡回訪問指導予定	巡回訪問指導予定	課題研究
第2時限	◎愛媛の教育改革 (城戸茂・露口健司・高橋葉子・藤堂浩伸)	◎授業における学習支援と指導法の事例分析 (向平和・遠藤敏朗・立松大祐)	巡回訪問指導予定 ◎子どもの資質・能力を高める学校経営論 (吉田慎吾・山内孔・露口健司)	巡回訪問指導予定	課題研究
第3時限	◎授業研究の開発実践 (兵藤清一・高橋葉子・藤堂浩伸)	◎授業開発の理論と実際 (吉村直道・高橋葉子・井上洋一・兵藤清一)	実習校からの移動	巡回訪問指導予定	◎学校組織のリーダーシップ (露口健司)
第4時限	◎小学校英語教育の実践研究 (立松大祐・池野修)	◎ICT教育の実践研究 (大西義浩・森慎之助・玉井輝之・井上洋一・日野克博)	◎特別支援教育の理論と実践 (立入哉・加藤哲則・吉松靖文・榎木暢子・苅田知則・中野広輔)	巡回訪問指導予定	◎子どもの発達と感情 (橋本巖)
第5時限	◎教員の成長と職業倫理 (山内孔・掛水高志)	◎子ども理解の心理的アプローチ(調査法) (橋本巖・榎木暢子) ◎データを活用した学校経営(調査法) (露口健司・尾川満宏)	◎教師のライフヒストリー省察と資質能力開発 (白松賢)	巡回訪問指導予定	実習事前事後指導等 エクステンション
集中	◎心の教育の理論と実践 (太田佳光・山内孔・遠藤敏朗) ◎生徒指導・進路指導の実践研究 (城戸茂・尾川満宏・藤堂浩伸) ●教員プログラム尾開発演習 (高橋葉子・露口健司) 単位互換授業 ●学校改善の実践的研究 (露口健司) 単位互換授業				

※実習について、ストレートマスターは、木曜終日と、水曜午前。現職は木曜のみ。
※◎は専攻共通基礎科目、●はリーダーシップ開発コース科目

【後期】

	月	火	水	木	金
第1時限		△教科指導力高度化演習 (教科領域コース)	巡回訪問指導予定	巡回訪問指導予定	課題研究
第2時限	●人材育成演習 (高橋葉子・露口健司)	○教材開発高度化演習 (吉村直道・高橋葉子・遠藤敏朗・井上洋一・立松大祐・太田佳光)	巡回訪問指導予定 ●信頼を構築する学校危機管理 (吉田信吾・山内孔)	巡回訪問指導予定	課題研究
第3時限	●地域とともにある学校の経営 (遠藤敏朗・高橋葉子・兵藤清一・尾川満宏)	○学級経営の事例研究 (白松賢・城戸茂)	実習校からの移動	巡回訪問指導予定	○進路指導の実践研究(尾川満宏・城戸茂) ●エビデンスに基づく教育政策・事業分析(露口健司・兵藤清一)
第4時限	○特別な教育ニーズへの対応 (樫木暢子・苅田知則)	○集団づくりの道徳論的アプローチ (太田佳光・山内孔) ○デジタル教材開発とその利用方法 (森慎之助・大西義浩)	○生徒指導機能を生かした学習指導 (山内孔・藤堂浩伸) ○ソフトウェアを活用した校務支援 (玉井輝之・森慎之助)	巡回訪問指導予定	○生徒指導と特別活動の実践研究(城戸茂・藤原一弘) ○プログラミングを活用した授業実践 (大西義浩・玉井輝之)
第5時限	○児童生徒・保護者の教育相談実践 (信原孝司・樫木暢子) ○ICTを活用した授業実践開発 (大西義浩・玉井輝之)	※教育実習 事前・事後指導	○教育課題解決のための教育プログラム開発実践 (白松賢・藤原一弘)	巡回訪問指導予定	※四国4大学遠隔授業 (現職教員)
集中	○子どもの問題行動の事例研究(信原孝司・山内孔) ●カリキュラムマネジメントと校内研修(倉本哲男) ◎学級経営の理論と実践(藤原一弘・遠藤敏朗・城戸茂) ◎学校・家庭・地域の連携論(遠藤敏朗・高橋葉子・青井倫子)				

H28年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	17名	15名	14名

H29年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	6名	6名	6名
教育実践開発コース	10名	20名	13名	13名

H30年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	22名	15名	12名

H31年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	28名	18名	18名

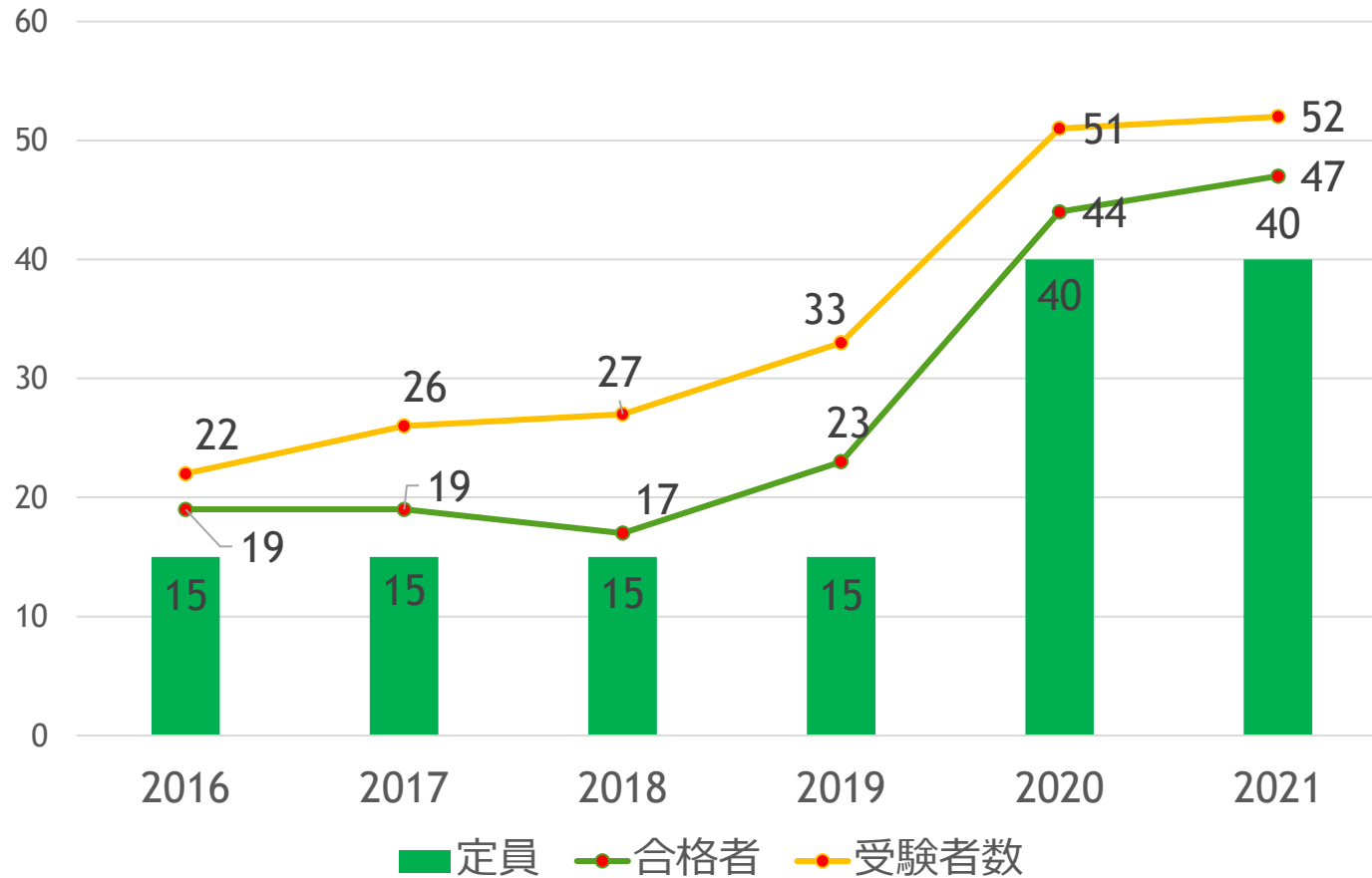
R2年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学予定者
リーダーシップ開発コース	5名	3名	3名	3名
教育実践開発コース	10名	13名	12名	12名
教科領域コース	15名	28名	24名	22名
特別支援教育コース	10名	7名	7名	7名
計	40名	51名	46名	44名

R3年度入試実績 (2次試験終了時点)

	定員	志願者	合格者	入学予定者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	
教育実践開発コース	10名	15名	15名	
教科領域コース	15名	26名	21名	
特別支援教育コース	10名	6名	6名	
計	40名	52名	47名	

右肩上がりの受験者数!!



- 2年猶予利用者30-50%
- ストマスの学内進学者率約85%
- 愛媛義務教採合格率5年連続100%
- 退学率・休学率 5年連続ゼロ

※2021は2次試験終了時点。3次試験の志願者を含めると志願者・合格者ともに過去最高の水準。

GIGAスクール対応

- 「ICTクラスルーム」の整備拡充（スマートボード、ipad×40、ロイロノート実装）
- 2号館に「GIGAスクール対応教室（仮）」を配備（遠隔オンラインの機能をもつ教室）
- 附属学校と連携したGIGAスクール対応
- 年度内に75型大型モニター3台、デジタル教科書（小中・全学年・5教科）配備検討中

エクステンション活動

チーム学校スペシャリスト養成講座

ソフトボール大会

訪問調査、学校組織マネジメント指導者養成研修の受講

オンデマンド研修用 デジタルコンテンツ開発

教職大学院の部活動 エクステンション活動

- チーム学校スペシャリスト養成講座
 - ・ 日本教育大学協会の助成金
 - ・ 教職員支援機構の助成金



- 2020年度より「履修証明制度」開始!! 令和2年度は23名が受講
- チーム学校スペシャリストの養成
 - ◆ ICT、地域連携、教育相談、教育福祉の4分野60時間を履修した者に、エリア資格を提供。
 - ◆ ICT支援員、地域コーディネーターの養成・研修を担う。
 - ◆ スーパー・スクール・サポート・スタッフ (SSSS) の誕生

NITSオンライン研修への参加【現職教員対象】

学校組織マネジメント指導者要養成研修（12/1-12/3） M2の5名が参加

地域とともにある学校セミナー（1/28, 2/5） M2の3名が参加

NIST道徳教育研修（9/23-9/25） M1の8名が参加

NITS生徒指導研修（9/7-9/9） M1の8名が参加

NISTスクール・マネジメント研修（9/31-10/4） M1の6名が参加

のべ32名が、NIST（教職員支援機構）のオンライン研修に参加

地域連携事業

えひめ教師塾

愛媛県内 連携共同研究・研修／事業支援

松山市教育研修センター連携事業

えひめ教師塾

Contents

えひめ教師塾に参加しました!!

5月18日（土）10:00-15:45

愛媛県総合教育センターとの共催事業、えひめ教師塾に院生が参加しました。

佐野研究科長の御挨拶、水田寿所長の御講話「えひめの教員に望むこと」、高橋葉子教授の御講演「今、なすべきこと! -愛媛の教師になるために-」、愛媛県教育委員会による教員採用試験の説明等、教員を志望する学生等にとって、大変豊かな学びの機会となりました。

午後の協議でも、参加者は意欲的・積極的に「めざす教員像」について議論を展開しておりました。

来週の土曜日から、本格的な研修がはじまります。えひめ教師塾での学びを通しての本学学生・大学院生の著しい成長が期待されます。



えがお
愛顔あふれる愛媛の教員を目指してみませんか!

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度はオンライン研修講座として実施します。

対象 経験年数の若い先生、講師の皆さん
教員志望の大学生の皆さん
(学年は問いません)

申込み 総合教育センターHPから
URL <https://center.esnet.ed.jp/>



**配信
予定
動画**

- 所長挨拶
- 学校教育と教員養成の近未来
- 自分から始める学びの場を
- 持続可能なコミュニティから -
- 目指す教員像と課題
- 教育相談のポイント
- ICTで理解の質は高まるか
- 学び方を獲得するために -
- 特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援



愛媛の子どもたちのために、共に学び、輝く未来を実現してみませんか。愛媛の教員を目指す情熱を持った方のお申込みを心よりお待ちしております。

<主催・お問い合わせ>

愛媛県総合教育センター

〒791-1136 松山市上野町甲650番地

TEL 089-963-3111 / FAX 089-963-3146



本年度はオンライン講座でした

令和2年度 愛媛県内 連携共同研究・研修／事業支援

- ・ 知的障がい教育における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に関する研究
- ・ 県立学校における働き方改革に関する意識等調査
- ・ えひめサイエンスリーダースキルアッププログラム
- ・ SDG s に資する地域人材育成プログラムの開発と協働支援体制の構築
- ・ 四国中央市教員キャリアアップ研修会
- ・ 南予地域リカレント教育人材開発研修
- ・ CS推進事業研修会

愛媛県総合教育センター研修事業

氏名	研修講座名
福井一真	小学校初任者研修（図画工作） 小学校キャリアアップ研修Ⅰ（図画工作）
楠 俊明	小学校キャリアアップ研修Ⅰ（音楽）
秋山敏行	小学校キャリアアップ研修Ⅱ（図画工作） 中学校キャリアアップ研修Ⅱ（美術）
鴛原 進	中学校・県立学校キャリアアップ研修Ⅱ（社会、地歴・公民）
立松大祐	中学校・県立学校キャリアアップ研修Ⅱ（外国語）
苅田知則	専門研修【特別支援教育】特別支援学級担任のためのスキルアップ
藤堂浩伸	課題別研修【中・国語】新学習指導要領を踏まえた授業づくり
井上洋一	課題別研修【小・音楽】学習指導要領を踏まえた音楽の授業づくり
山内 孔	課題別研修【生徒指導】いじめの未然防止と早期対応
加藤哲則	課題別研修【特別支援教育】通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり

松山市教育研修センター研修事業

研修名	講師
初任者研修	井上昌善 遠藤敏朗 高橋葉子
3年目サポート研修	藤原一弘
中堅研修Ⅰ	藤原一弘 遠藤敏朗
中堅研修Ⅱ	遠藤敏朗 井上昌善 苅田知則
栄養教諭初任者研修	岡本威明
栄養教諭中堅研修Ⅰ	遠藤敏朗
養護教諭中堅研修Ⅰ	遠藤敏朗
松山市志成塾	遠藤敏朗 掛水高志
課題別実践力向上セミナー	井上昌善
松山市教科サマーセミナー	太田佳光 大西義浩 安部利之
まつやま教育研修センター フェスタ	山内孔 露口健司 立松大祐 城戸茂 太田佳光 藤原一弘

松山市教育研修センター連携事業

松山市教育研修センターには、「大学連携室」が設置されており、同センター職員と教職大学院教員との日常的な交流が図られています。

令和2年度は年間47回（令和元年度48回、平成30年度は22回）の「大学連携セミナー」を開催し、松山市内外の教職員に公開しています。

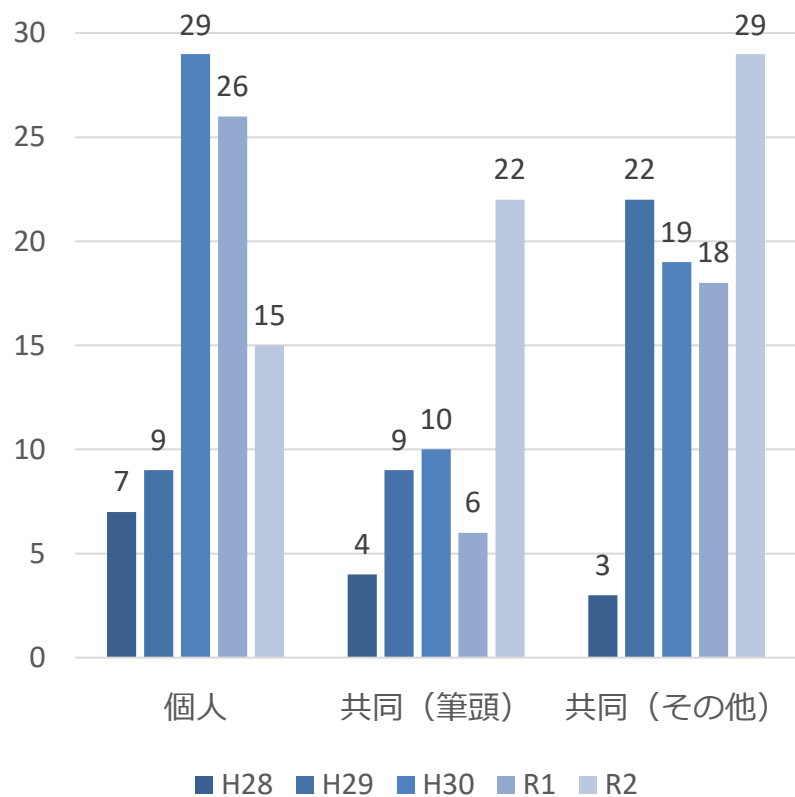
コロナ禍でも教職の生命線である研修を止めない!!

研究・社会貢献

研究業績

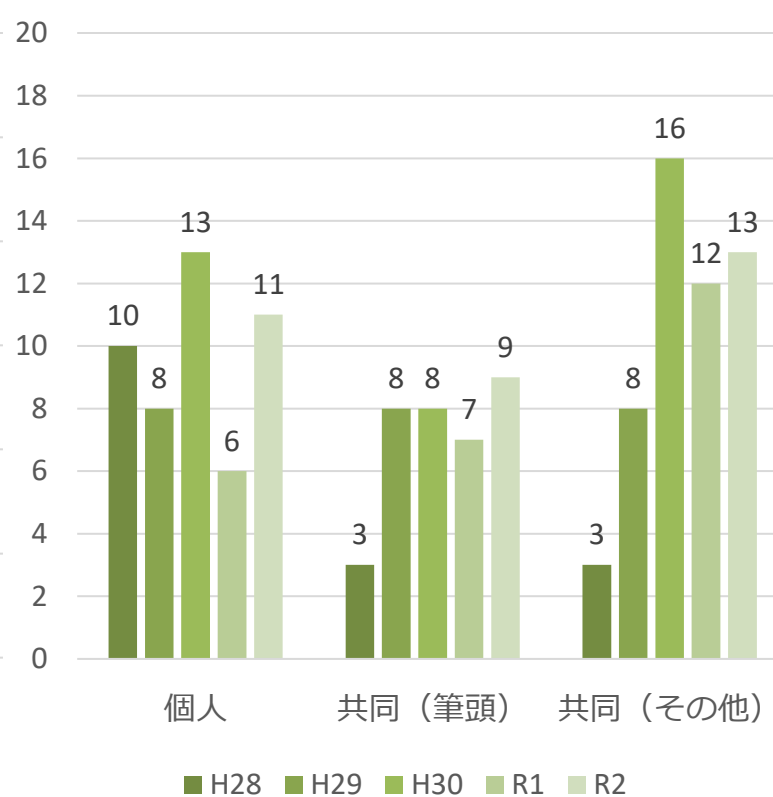
社会貢献実績

研究業績



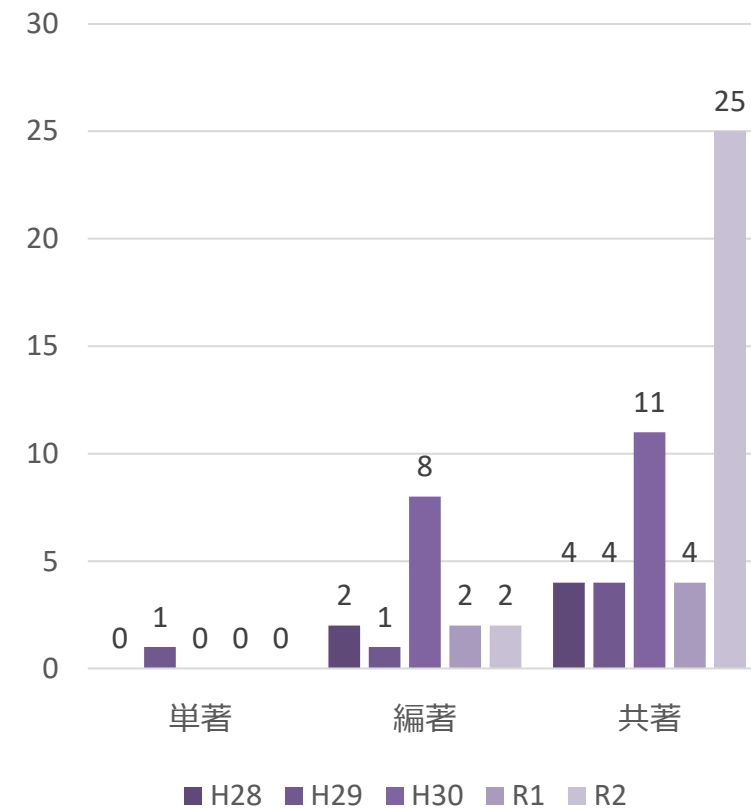
学会発表

R2年度 1名平均0.7件



論文

R1年度 1名平均0.3件

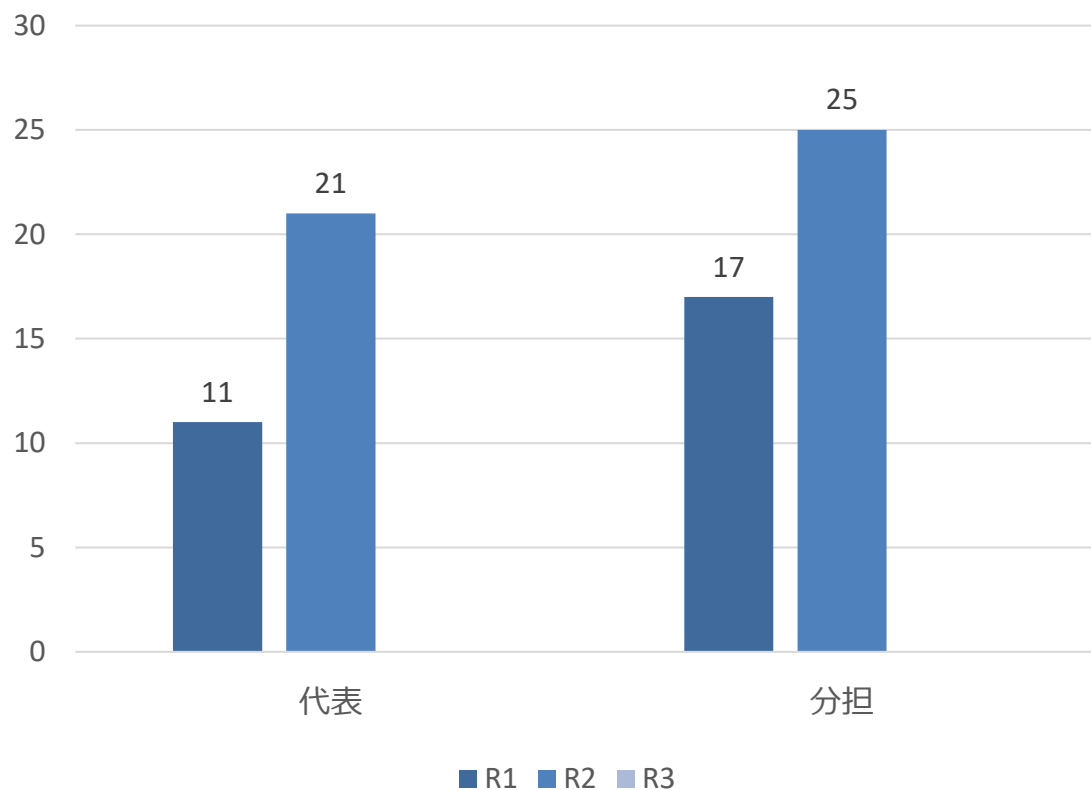


著書

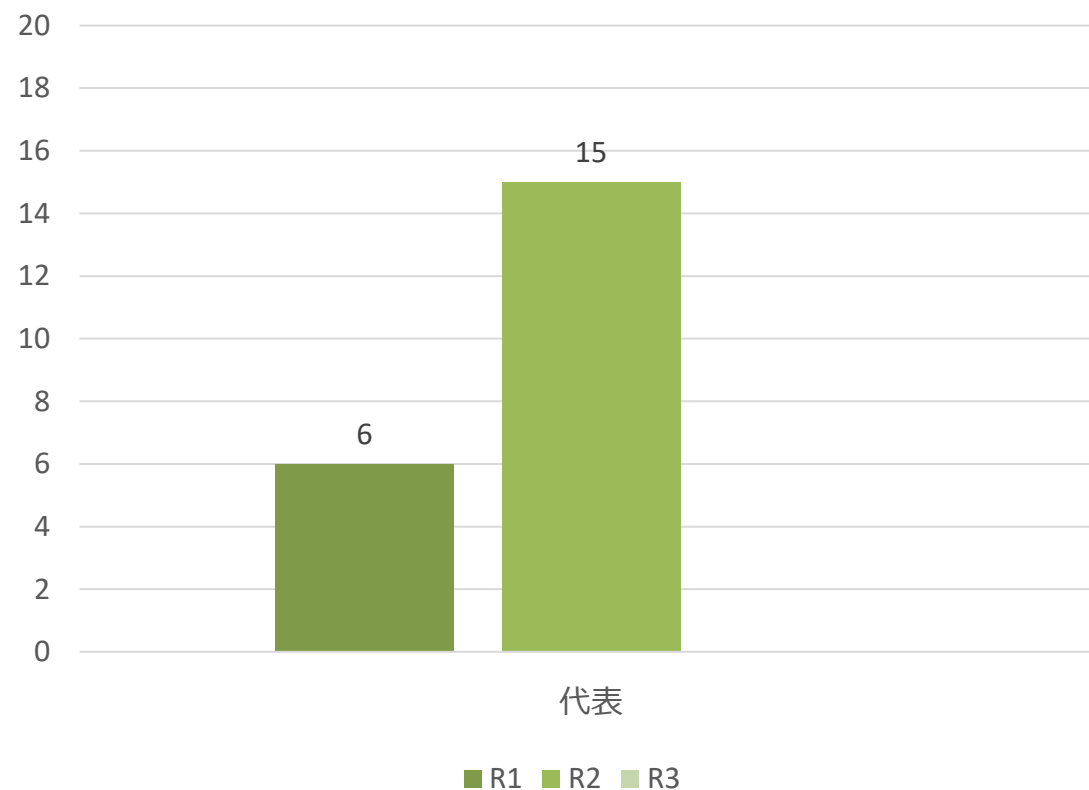
R1年度 1名平均0.3件

科学研究費補助金

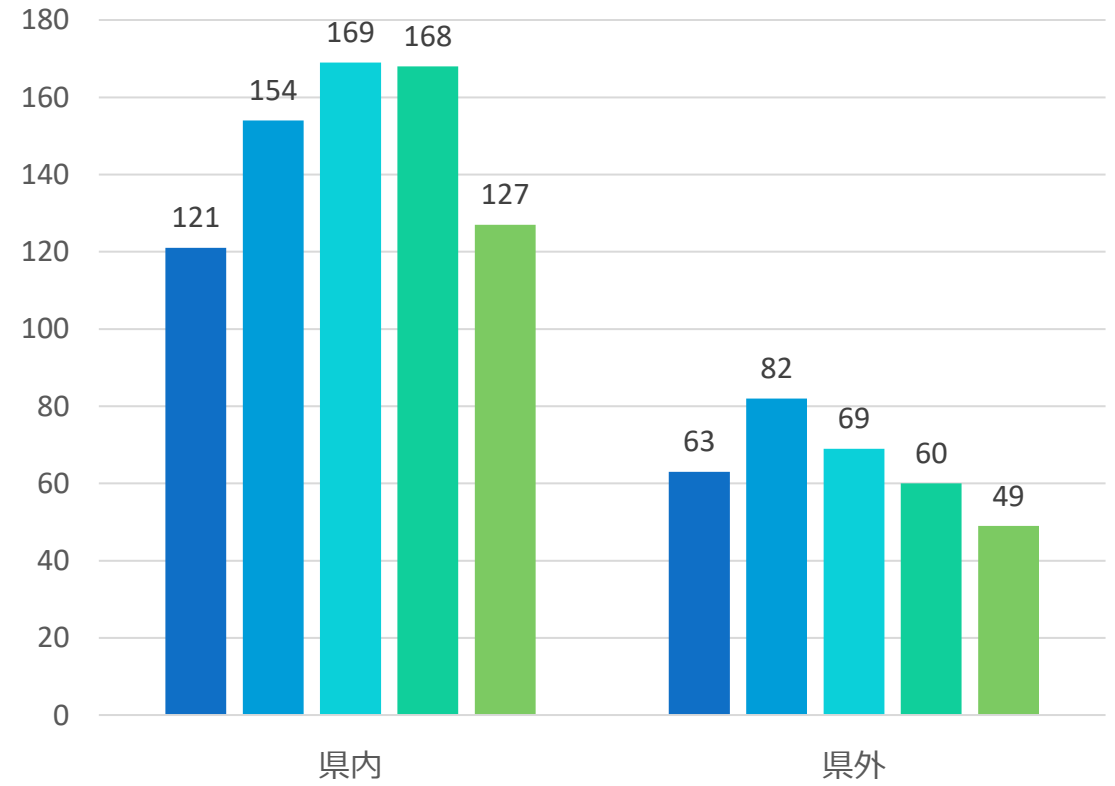
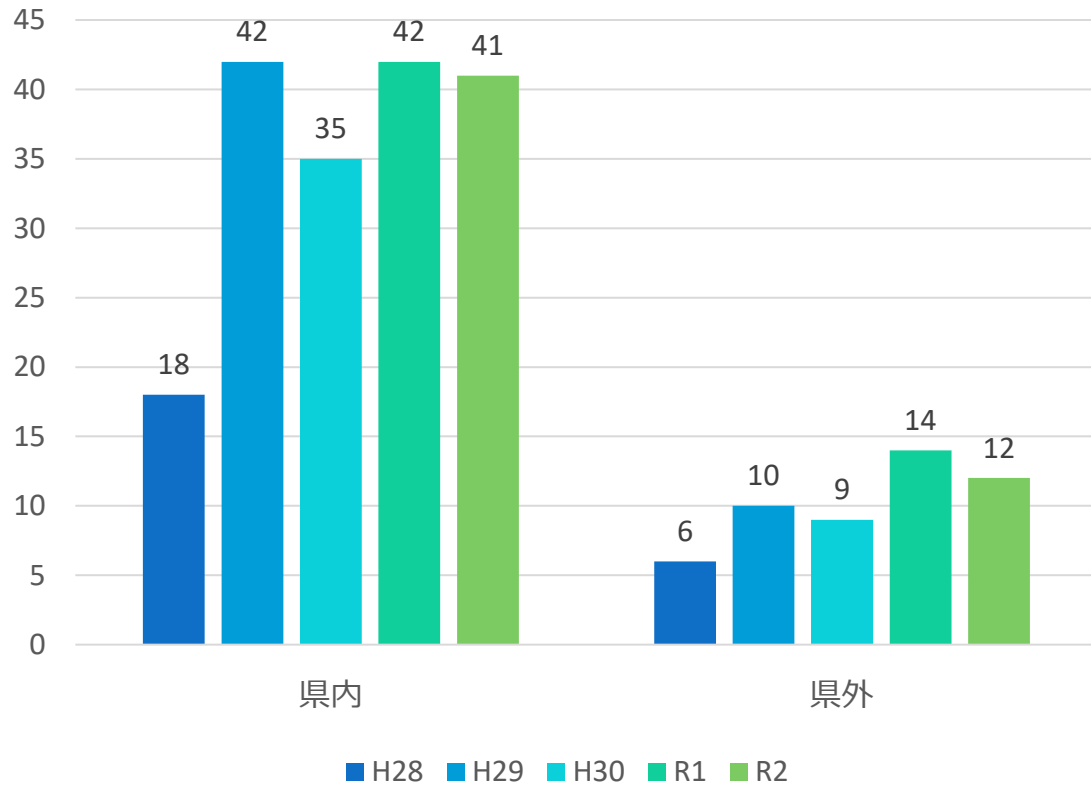
採択件数



その他の外部資金



教職大学院教員の社会貢献実績 【平成28-R2年度】



審議会等委員

R2年度 1名平均0.8件

講演・研修

R2年度 1名平均2.8件

令和2年度 受賞一覧

- 井上昌善：地理情報システム学会賞（一般社団法人 地理情報システム学会）「GIS の活用を通して地域の安全を担う市民育成を目指す教育プログラムの開発」
- 岡本威明：愛媛大学学長特別賞（愛媛PCR大学応援隊としてのPCR 検査実施）
- 藤田昌子：第36回愛媛出版文化賞 奨励賞受賞 第1部門 研究・評論 「愛媛学を拓く」
- 榎木暢子：令和2年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰

2021以降の検討課題

Society5.0時代をリードするフラッグシップ教職大学院を目指す

情報免許課程とICT教育高度化プログラムとの連動化

附属学校と連携したGIGAスクール対応

ICT活用の先端実践モデル開発

履修証明プログラムの本格実施

将来的な教員40%修士号取得に向けての基盤研究を開始

連合博士課程（Ed.D）への参加の検討

ストレートマスターが数年後に博士課程に派遣される世界を構築